

長門商工会議所中小企業景況調査速報
(令和7年1～3月期状況、令和7年4～6月期見通し)

令和7年5月調査分

令和6年3月に認定を受けた「小規模事業者経営発達支援計画」に基づき、小規模事業者の持続的発展のため経営実態やニーズ把握を重視し、個別事業所の経営状況分析の基礎データとして活用することを目的に地区内の事業者167社を対象に景況調査を実施しました。

I. 調査概要

- 1 調査方法 郵送、聞き取り
2 調査対象先 長門商工会議所管内の中小企業167社
3 有効回答企業の内訳 61社 回答率37%

	建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	計
回答数	9	7	3	15	27	61
対象事業所	24	23	9	38	73	167
回収率	38%	30%	33%	39%	37%	37%

II. 調査結果

総 括 仕入単価DIの好調(値上がり)が止まらない。従業員数はおおむね微増。人手不足や人口減少も業況に影を落としている。
仕入単価DIは令和3年1～3月期調査あたりから現在までずっと同じような数値となっている(上がり続けている)

建設業	前回調査比で採算DIが悪化した。 経営上の問題点「材料価格の上昇」以外に飛びぬけて多いものがなく、回答が割れた。
製造業	前回調査時に今期設備投資を計画していた事業所は40%だったが、実際に実施したのは14%に留まる。 経営上の問題点で従業員の確保難と人件費の増加が上位に挙がっている。
卸売業	経営上の問題点「仕入単価の上昇」が3期連続1位となった。 前回調査時の来期見通しがそのまま今回調査の当期に来ており、おおむね見通し通りだったことが分かる。
小売業	今期設備投資した事業所は0だった 経営上の問題点「消費者ニーズの変化への対応」が「仕入単価の上昇」を抑え初の一位を獲得した。
サービス業	売上DI、業況DIは見通しを含め2期連続で0以上になっており、全体的に良くなっている。 その一方で採算DIは悪化しており、経営上の問題点では従業員に関する項目が増えてきた。

				
特に好調 (50以上)	好調 (25以上50未満)	まあまあ (0以上25未満)	不調 (△25以上0未満)	きわめて不調 (△25未満)

	建設業		製造業		卸売業		小売業		サービス業	
	当期	来期見通し	当期	来期見通し	当期	来期見通し	当期	来期見通し	当期	来期見通し
売上										
DI値	△ 39	0	7	△ 29	△ 17	△ 17	△ 23	△ 10	17	20
仕入単価										
DI値	78	83	86	71	17	67	20	33	44	44
採算 (営業利益)										
DI値	△ 28	△ 39	0	△ 21	△ 50	0	△ 37	△ 27	△ 7	△ 4
従業員										
DI値	22	22	7	0	△ 17	0	△ 10	△ 23	△ 4	4
業況										
DI値	△ 22	△ 22	7	△ 14	△ 33	0	△ 43	△ 33	0	2

※DI (DIFFUSION INDEX 景気動向指数):各調査項目において「増加(好転)」と回答した企業割合から「減少(悪化)」と回答した企業割合を差し引いた値

新規設備投資

	建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業
実施した	22%	14%	33%	0%	22%
計画している	33%	43%	33%	27%	19%

経営上の問題点(複数回答あり)

	建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業
1位	材料価格の上昇 (前回1位)	原材料価格の上昇 (前回1位)	仕入単価の上昇 (前回1位)	消費者ニーズの変化 への対応(前回5位)	材料等仕入単価の上 昇(前回1位)
2位	熟練技術者の確保難 (前回2位)	人件費の増加 (前回回答なし)	需要の停滞 (前回2位)	仕入単価の上昇 (前回2位)	従業員の確保難 (前回4位)
3位	従業員の確保難(前回3位) 官公需要の停滞(前回5位) 新規参入業者の増加 (前回6位) 下請単価の上昇(前回11位)	従業員の確保難 (前回3位) 生産設備の不足・老朽 化(前回8位)	原油高・円安・物価高騰によ る経営への影響(前回3位) 人件費以外の経費の増加 (前回回答なし)	人件費以外の経費の 増加(前回3位)	人件費の増加 (前回2位)

III. その他意見

- ・ 官工事の入りが落とせない
- ・ 物価・賃金の上昇が大きく、受注額に対応させるのが大変である。
- ・ 需要の停滞により売上が減少した
- ・ 単価の上昇により、購買力の低下が起きている
- ・ アルク出店が1番大きな影響を与えているのはまちがいないが、人口減少も大きな問題であり、客数増加策を打っても継続的な打開策にはならない。
- ・ 人口減少(消費人口減少)がポディーフローの様に影響を及ぼしてきている。
- ・ セール等を開催しても、なかなか利益上昇までは追いつかない。還元率の高い方へ消費者が向いていると思われる。
- ・ 人手不足で作業が思った様に進まない。
- ・ 原油の高止まりする燃料費の負担が資金面に大きく影響している。
- ・ 多くの食材や光熱、上・下水道代、最低賃金、税金などの値上げで店内の商品の値上げが止まらない。同業者との競合についていけるのか不安。